



2023年8月4日

各位

会社名 株式会社ハイパー
代表者名 代表取締役社長 望月真貴子
(コード番号: 3054 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 江守裕樹
(TEL 03-6855-8180)

第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績の動向を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想(2023年1月1日~2023年6月30日)及び2023年12月期通期連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)に対し、次の通り修正しましたので、ここにお知らせいたします。

記

1. 修正連結業績予想

(1) 2023年12月期第2四半期(累計)(2023年1月1日~2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,364	百万円 75	百万円 73	百万円 50	円 銭 5.16
今回修正予想(B)	6,011	32	32	△2	△0.24
増減額(B-A)	△353	△43	△41	△52	—
増減率(%)	△5.5	△57.3	△56.2	—	—
(ご参考) 前期第2四半期連結実績 (2022年12月期第2四半期)	5,579	66	69	△294	△30.43

(2)2023 年 12 月期通期 (2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,230	百万円 203	百万円 198	百万円 138	円 銭 14.04
今回修正予想(B)	11,700	71	70	1	0.10
増減額(B-A)	△530	△132	△128	△137	—
増減率 (%)	△4.3	△65.0	△64.6	△99.3	—
(ご参考) 前期実績 (2022 年 12 月期)	10,599	△45	△41	△499	△51.50

2. 業績予想修正の理由

(1) 第 2 四半期連結累計期間

当社グループの状況につきましては、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、アスクルエージェント事業や子会社の業績は概ね順調に推移いたしました。アスクルエージェント事業においては、新型コロナウイルス感染症対策の緩和が進む中、企業における働き方が在宅勤務から通常勤務に戻りつつあること、人の移動が活発化したことで日用品などの需要が回復したこと、既存取引先の稼働促進や新規取引先への営業活動を強化したことで、売上高、営業利益は堅調に推移いたしました。

一方、主力の IT サービス事業においては、4 月から 6 月までの PC 販売台数が、前年同期より上回るなど業績復調の兆しも見られましたが、部材価格、物流費高騰などを背景とした製品価格の上昇により、当社のメインターゲットである中堅中小企業では、購買行動に抑制傾向もみられ、売上高は業績予想数値を若干下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、部材価格、物流費高騰などを背景とした製品価格の上昇分を販売価格に転嫁しきれなかった影響もあり、業績予想数値を大きく下回る見通しとなりました。

なお、経常利益及び親会社株主に帰属する連結四半期純利益につきましては、営業利益の計画未達を主因として、いずれも予想数値を大きく下回る見通しとなりました。

(2) 通期連結会計年度

2023 年 12 月期通期の連結業績予想につきましては、当第 2 四半期連結累計期間の進捗状況及び第 3 四半期連結会計期間以降の業績見通しを精査した結果、売上高については概ね前回予想数値通りに推移する見通しです。

一方で営業利益については、継続的なコスト削減を実行しつつ、来期以降の急速な業績回復を図ることを目的に、システム導入並びに新規ソリューション開発のた

めのマーケティング費用などの事業投資を実行するため引き続き減益となり、前回予想数値を大きく下回る見通しです。

3. その他

配当予想について

当期の配当金につきましては、現時点で当初予想からの変更はございません。
今後の動向を見定め、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

(注) 当該業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績などは様々な要因により当該予想数値と異なる場合があります。

以上